

文書は歴史的財産 長野市公文書館だより

No.3 平成22年8月6日
発行:長野市公文書館
Nagano City Archives

公文書館の仕事紹介②



館の概要を説明する公文書館職員



熱心に閲覧室を見学

7月18日(日)13:00~15:30

学習院大学アーカイブズ学専攻の皆さんが来館し、見学・研修していただきました。

公文書館・博物館・資料館などの実務担当や研究を目指す人たちです。



資料の所蔵庫も見学

今年も実施します！ 古文書講座

好評につき、今年も古文書講座を実施します。おかげ様で第3回を迎えることになりました。

今回も昨年と同じく善光寺を題材にして、古文書の初心者でこれから挑戦してみたいと思う方を対象にしています。是非ご参加ください。



(昨年の古文書講座から)
古文書の解説に取り組む。

期日	9月12日(日) 9月26日(日) 10月10日(日) 10月24日(日) の計4回
時間	午前9時30分 ~ 午前11時40分
会場	長野市城山分室内 共用会議室1
講師	鬼頭 康之 先生 (元当館専門主事、 『長野市誌』近世史部会長)
内容	古文書の初歩、善光寺・善光寺町に関する こと。
受講料	無料(資料代別途400円)
申込方法	9月6日(月) ~ 10日(金) 8時30分~17時00分に電話で受付。 また、『広報ながの9月1日号』にも掲載
定員	30人(先着順)

..... 昨年実施した古文書講座に参加した方の声

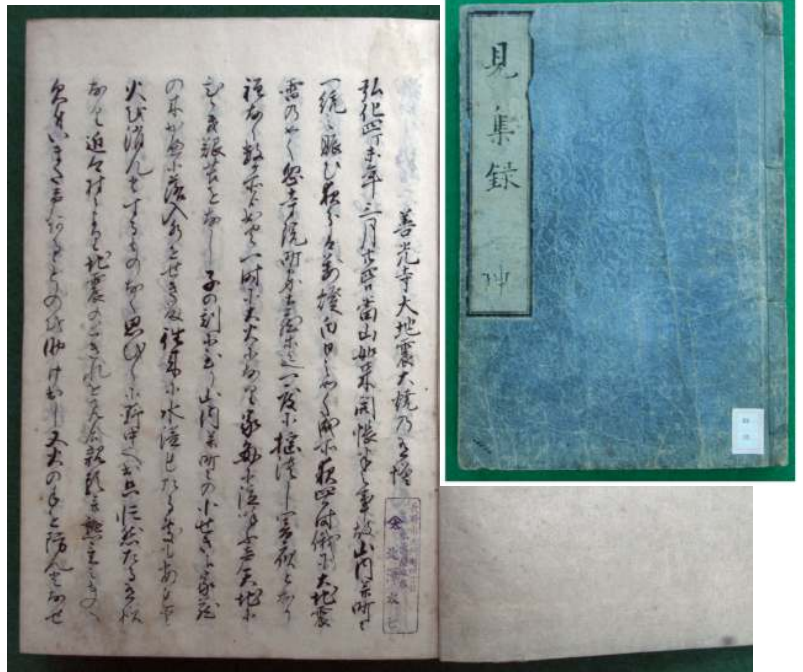
- ・善光寺の資料について、諸々講義していただき勉強になりました。
- ・親切丁寧な説明で理解ができました。
- ・大変勉強になりました。

などなど

永寿屋本店薬局の資料が公開！



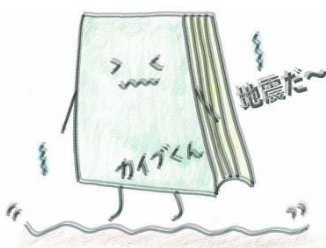
貴重な資料を寄贈してくださった永寿屋本店薬局(長野市大門町)



↑
善光寺地震に関する記事を筆写した『見集録 坤』(和綴本)

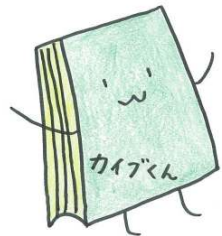
善光寺大地震大焼乃有（あらまし）増
弘化四丁未年三月廿四日、当山如来開帳半之事故、山内並町々一統之賑ひ、夜分は万燈白日の如く成所、夜四（午後十時）ッ時俄に大地震雷の如く忽寺院・町家・土蔵等迄一度に揺潰し闇夜となり程なく数ヶ所より出火、一時に大火になり、家毎に泣呼ぶ声、天地にひびき、艱苦をなし、子（午後十二時）の刻に至り、山内並町々の小せき江家蔵の木かべに落入、水をせき留、往來に水溢れたる処もあれど、火を消んとするものなく思ひ、に野中へ出、只茫然たる有様なり、近郷村ニより地震のときれを見合、親類並懇意のものへ欠付（かけつけ）、いまだ声あることを助け出し、又火の手を防んとなせども寄付（よりつけ）ならず、丑（午前二時）の時に至れハ水絶へ、家々の井戸は壁落ち崩れ、水の気なく火はますます盛んとなり、風未だ申（南西）の方より烈敷く、如来の御堂は烟之

寄贈資料は『見集録』
とじ
(和綴本)10冊が中心。
江戸時代を中心として
広く世の中の出来事、
事件等の伝聞を書き留
めたものです。



鬼頭康之
『見集録 坤（こん）』の紹介(一)
(『長野』262号 平成20年
12月から)

中となり、既に危く見へ候処、不思議なるかな此折柄三門・御本堂の屋根上に数多の人影あらわれ、八方へ欠け廻り、火の手を防ぐ躰見るたる者多く、夜明けにおよび、御屋根の上に人影見へす風とかわり、明れハ廿五日火気益烈敷く立登り、市中一面に火となりける処へ松代様より御防の御人数並六川御陣屋(11)よりも御出張、後丁口漸々消口ニ相成り、同夜命を助り候もの野田に伏せ居り、折柄雨降り、誠に嘆敷事ニ候、地震止ミ不申、廿六日焼



長野市公文書館
所在地 〒380-0801
長野市箱清水一丁目3-8 長野市城山分室内
電話 026-232-8050
FAX 026-232-8051
ホームページ <http://www.city.nagano.nagano.jp/naganoarchives/>